



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学附属図書館報「榆蔭」56号
Issue Date	1981-05-30
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/66613
Type	journal
File Information	yuin56.pdf





図書館の思い出

水産学部教授 高木光造

図書館についての思い出は中学1年に始まる。学校図書館の利用の仕方を教わった数日後、何の手伝であったか覚えていないが、書庫に入れてもらったのである。当時教科書で習っていた「吾が輩は猫である」の全文を読みたいと思って探しているうち、ふと別の棚の世界文学全集の中に「地獄」という題名の本を見つけ、その題名にひかれて頁をめくってみた。最初から×××と伏せ字ばかりで中学1年生には何が何だか分からない文章ではあったが、はじめて見る伏せ字の向こうに、まだ知らぬ秘密の世界のあることを思って、心が騒いだ事を今も鮮やかに思い出す。そして中学校の薄暗い書庫のなかに夥しく重ねられた書物の群れに、未知のものへの畏怖と憧れとを抱いた最初の気持は45年を経た現在でも、私の図書館への思いの基底をなしているようである。

つぎに市立図書館に行った思い出であるが、中学生後期に夏休みの宿題の自由研究で郷土の民話を調べに一週間程弁当持参で通ったことがあった。図書館は公園のなかで夏木立の翳が深く、昼さえ灯す日もあったが、窓から吹き込む風は爽やかであった。机の椅子も棚も整然と並ぶなかに、先生風の人や、おじさん風の人らが黙々と本を読んでいた。膨大な数のカードのなかから必要な本に目星をつけて申し込み、それが手渡されてみるとボロボロの本であったりしたこともあったが、一体どんな人がこの本を読んだのであろうとか、誰れが引いたとも知れぬ赤い傍線の意味とか、今、自分がこの本を読み次ぐ一人であることの意味とかを考えたりしたものである。その時調べた内容についてはすっかり忘れてしまっているのに、その時聞こえた蟬の声、頁をめくる音、静謐な雰囲気を出し出す。一般の大人に混じって閲覧する微かな自負のようなものも、はじめての経験であった。

爾来数十年、不勉強な私は図書館には余り縁もなく、又調べ物があって図書館に行くことがあっても、機械的に本を抜き出して、自分の必要な箇所を抜き読みするという程度のものになってしまった。然し図書館に入ると、何かのはずみに少年の日の瑞々しい印象が心に戻って来ることもある。

図書館についての経験も、又とりたてて言う程の定見にも乏しい私が図書館委員となり、あまつさえ此のような一文を書くなど、内心忸怩たる思いがあるが、割り当てられて書いた。図書館についての、ありふれた私の思い出である。

◆ 会 議

第103回 図書館委員会

<と き 昭和55年12月20日(土)>

<ところ 附属図書館会議室>

議 題

1. 文部省特別図書購入費による図書購入計画について
2. 閲覧個室(第2種)について
3. そ の 他

第104回 図書館委員会

<と き 昭和56年3月28日(土)>

<ところ 附属図書館会議室>

議 題

1. 学内共同利用図書について
2. 閲覧個室(第1種, 第2種)について
3. そ の 他

第67回 教養分館委員会

<と き 昭和56年1月22日(木)>

<ところ 教養分館会議室>

議 題

1. 学生用図書費の追加配当について
2. そ の 他

全学図書(担当)掛長会議

<と き 昭和55年12月16日(火)>

<ところ 附属図書館会議室>

議 題

1. 和雑誌購入事務の取扱いについて
2. そ の 他

全学図書(担当)掛長会議

<と き 昭和56年2月17日(火)>

<ところ 附属図書館会議室>

議 題

1. 国立大学図書館間相互利用実施要項(試案)について
2. 学内監査(図書関係)の結果について
3. そ の 他

北海道地区国立大学図書館協議会

<と き 昭和56年4月17日(金)>

<ところ 帯広畜産大学附属図書館>

協 議 題

1. 学術情報システムと大学図書館の改善, 併せて地区内大学図書館の協力体制について
2. 国立大学図書館間相互利用について
3. 大学図書館間に係る文献複写業務の改善について
4. 「参考図書購入費」(特に二次資料の購入費)を増額すること
5. 相互協力業務担当職員の増員について

以上について活発な討議がなされ, 4, 及び5の協議題については第28回国立大学図書館協議会総会の地区議題として提出することとなった。

なお, 次年度の当番館は, 小樽商科大学附属図書館に決定した。

資料紹介

昭和 55 年度 全国共同利用外国図書購入費で購入した図書

1. Early English Literary Periodicals. (初期英国文芸誌コレクション)

本コレクションは、近世英国の刊行雑誌中 18～19 世紀のものはさきにマイクロ化されて利用されてきたが 17 世紀に遡り、かつ文学、哲学、思想の分野にわたるものは今回初めてマイクロ化され利用し得ることになった。

2. British Foreign Office. Russia Correspondence 1892-1945. (英国外務省外交記録ロシア・ソ連関係文書 1892-1945)

本コレクションは、英国外務省の外交記録のうち 1892～1945 年のロシア＝ソ連関係の文書を集めたものである。

昭和 55 年度 特別図書購入費で購入した図書

1. 私家集大成 明治書院 1975

本書は、わが国の平安朝から室町期に至る個人歌集を集大成したもの。現存伝本中の最善本と主要異本とを翻刻収録し、初句索引を附す。

2. 現代仏教学術叢刊 台湾大乘文化社 昭和 53 年

本書は、民国初年以來の仏教関係の重要論文を諸雑誌類に求め分類集成したもので、羅振玉・胡適・陶希聖等著名な学者の論文が数多く掲載されている。

3. Harvard Studies in Classical Philology. Vols. 1-71, & Supplement. 1890-1967

Johnson Rep. Corp. New York (ハーヴァード西洋古典文献学研究雑誌)

本書は、古代ギリシャ・ローマの哲学・歴史・語学・文学をカバーする西洋古典研究雑誌である。

4. SAGA-BOOK of the Viking Society. Vols. 1-19 (Publications of the Viking Society for Northern Research) 1895-1977, London, AMS Repr. (サーガ文学・史伝研究叢書)

本書は、「北方研究のためのヴァイキング協会」(英国) が 1895 年以來刊行している研究報告の AMS 覆刻版。会の動向とヴァイキングの担った文化交流、北欧の口誦文芸(サガ・エッダ)や宗教・美術・神話に関する豊富な情報を収録している。

5. Педагогические Журналы, опубликованные в России. (帝政ロシア教育学誌コレクション)

本書は、1869 年から 1917 年までに至る帝政期ロシアにおける自由主義的傾向を有する教育学雑誌の集大成である。農奴解放に伴う国民教育の大改革の実施過程、第一次ロシア革命期の教育改革論争や教育運動の動向、その後十月革命に至るまでの義務教育実施問題、統一学校、自由教育論、女子教育、高等教育など広く教育政策、教育運動、教授法改革、教育思想、社会思想に関する論稿を含んでいる。

6. 戦史叢書 朝雲新聞社

本書は、政府・陸海軍の総動員体制の展開過程、戦争指導、個々の作戦にかかわる公文書、記録を豊富に含んだ 1930 年代後半から敗戦にいたる時期の公刊の戦史である。

7. 復刻 幼児の教育 第21巻～第44巻, 別冊索引

本書は、大正より戦時中にいたる時期の幼児保育の唯一の専門誌で大正10年～昭和19年に発刊されたものの復刻である。

8. The English Working Class. ed. by Standish Meacham. (University of Texas)

Garland Publishing, Inc. 全30巻 リプリント版 (第1次大戦前イギリスの労働者階級)

本書は、19世紀末から第1次大戦前までの主としてロンドンにおける不熟練労働者家族の状態を調査研究した文献の集大成である。

9. Dziennik Ustaw Polskiej Rzeczypospolitej Ludowej. 1959, 1963-1978. 17 vols.

(ポーランド人民共和国官報)

本書は、ポーランドにおいて公布された法律および政令を収録。

10. National Civic Review. Vol. 1-66. 1912-1977 (Pergamon Press) (全国都市評論)

本書は、アメリカの自治体レベルにおける都市問題、都市政治、都市計画、地方自治等に関し政治、法学、経済、工学等の各分野の研究者のほか、実務家も寄稿している都市問題の代表的評論誌

11. Herder, J. G. von Sämtliche Werke. Hrsg. von B. Suphan. Bd. 1-33. (Original)

(ヘルダー全集)

本書は、Johann Gottfried Herder (1744-1803) の全著作が収められている。(ドイツの文学者、哲学者)

12. Histoire des Sciences. XVIIe-XIXe Siecles: 48 titles. 368 Microfiches. (Micro-editions Hachette.) (17～19世紀フランス科学史)

本書は、パリ国立図書館が所蔵する稀観書コレクションより17世紀中葉から19世紀にいたるフランスの科学論文を厳選復刻、同期の膨大な科学論文のうち、とくに自然論文の自然科学分野、数学・物理学・化学・鉱物学・地質学の重要論文48編を368葉のマイクロフィッシュに収めた論文でつづるフランス科学史

13. U. S. Code of Federal Regulations. Latest Edition. (米国連邦法令集)

本書は、我が国の「六法全書」に相当する現行の米国連邦法規集である。これは51タイトルに分けられ独禁法、証券法、証券取引法、公益事業の諸法規、州際取引法、原価計算基準局の諸法規、通貨に関する諸法規、エネルギー等に関する法律が網羅されている。

14. Government Reports Announcement & Index. Annual Index. 1979 Vol. 1-6

(米国政府委託研究レポート抄録誌索引)

本書は、米国政府または政府の委託による科学技術関係のレポートの年間累積索引で70,000件以上が収録されている。過去に公表されたこの種のレポートは12,000,000件以上にのぼり、これらを検索するのにこの年間累積索引版は必須のものである。

昭和55年度 学部共通図書購入費で購入した図書

1. Chroniken der Deutschen Städte vom 14. bis ins. 16. Jahrhundert. Bd. 1-36

1961-1968 (14～16世紀ドイツ都市年代記集成)

本書は、中世末期から近世初頭にかけての、ドイツの主要都市の年代記を網羅的に集録したもので史料批判の厳正さは定評があり、英仏の学界でも高く評価されている。

2. Carbon-13 NMR Spectral Data. 1979 (炭素13核磁気共鳴吸収スペクトルデータ)

本書は、質量数13の炭素の核磁気共鳴に関する吸収スペクトルデータ集であると共

に主として炭素の核磁気データが載っている。

3. オーラルハイジーンへの道 (口腔衛生) (16 mm カラーフィルム)

本書は、口腔衛生を達成し、歯垢を除去することがウ蝕および歯槽膿漏症の予防につながるものである。そのことにつき基礎的原理より応用面に到るまで平易に説明されており、見る人をして歯垢の恐ろしさを感じさせるのである。

4. A. Berlese, Acari Myriopoda et Sorpiones 1882-1903. 12 Vols.

(A. ベルレーゼ, ダニ類, 多足類, サソリ類, 1882-1903)

本書は、蛛形綱の第一人者ベルレーゼ博士によるダニ類, 多足類, サソリ類に関する1882年から1903年までの論文を集大成した古典的文献

5. World Survey of Climatology. Vol. 1-15. (世界の気候概説)

本書は、Vol. 1~3. 気候学一般について論説. Vol. 4~15. 世界を12のブロックに分けて専門家が記述

学内共同利用逐次刊行物叢書類購入一覧 (1981)

資 料 名	配 置 場 所
1. American Historical Review. (+Letters)	附 属 図 書 館
2. Beilstein Handbuch der Organischen Chemie.	理 学 部
3. Biological Abstracts.	医学部・水産学部
4. Biological Abstracts. Cumulative Index.	医学部・水産学部
5. Current Contents, Social Behavioral Science.	附 属 図 書 館
6. Eiszetalter und Gegenwart. DDR	附 属 図 書 館
7. European Journal Operational Research. (by Air Cargo)	附 属 図 書 館
8. Gesetzblatt der DDR. Teil. I. II.	附 属 図 書 館
9. Gmelin Handbuch der Anorganischen Chemie.	理 学 部
10. Journal of Applied Physiology.	附 属 図 書 館
11. London Bibliography of the Social Sciences.	附 属 図 書 館
12. Psychopharmacologia.	附 属 図 書 館
13. Research Quarterly.	附 属 図 書 館
14. Synthese; An International Journal Epistemology and Philosophy of Science.	附 属 図 書 館
15. AIIE: Transactions. Transactions of American Institute of Industrial Engineers.	附 属 図 書 館
16. United Nations, Publications.	附 属 図 書 館
17. Current Digest of the Soviet Press.	附 属 図 書 館
18. Archiv für Hydrobiologie.	水 産 学 部
19. Landolt-Börnstein.	附 属 図 書 館
20. 复印报刊資料 (复印報刊資料)	附 属 図 書 館
21. 中国研究月報	附 属 図 書 館

注) 17~21 は、昭和56年度より購入が認められたものである。

中国方志叢書（第二期，華南，華中，華北，東北部分）

<方志について> 「方志」（地方志とも言う）なる語は『周礼』初見のものであり、すでに先秦から唐代に到る間に、各地方の歴史・現状を記述した、いわゆる“古方志”の類が編纂された例は少なくない。しかし、本叢書に収められているものの如き体裁と内容を有する「方志」の編造は、宋代に始まり、明代に到って全国各地で広く行われるようになる。これら方志は、省、府、州・県・衛、さらには鎮を単位として作られたが、一般には府、及び州・県単位のものが多く、明代から民国初期の約五百年間に中国本土のほとんどの州・県が、少なくとも一次は方志を刊行している。

宋という、中央集権的官僚制が地方統治にまで貫徹し、地方官（知州・知県等）には当該地域以外の出身者を任命する“本籍回避”の制の確立した時代に編造が始まることは、方志の有する最も重要な機能、つまり他処から赴任する地方官の執務に資するハンドブックという性格と密接に関係する。一般に方志は地方官の総裁のもとに、当地出身・在住の士大夫（郷紳）から選ばれた人々によって執筆・編纂され、大体、以下のような内容を含んでいる。冒頭（巻首）には、序文・汎例（編纂、史料取舍の方針）・目次と、全域・水路・首邑の地図（清代後期になると正確な縮尺によるものが多くなる）、及び官衙・官学の構内図が収められている。序・図に続く本文は、趣ね次のような内容を持っている。

- i. 沿革・疆域（形勢・位置・幅員など）・山川・城池（県城）・郷都（行政区画）・村鎮（聚落）等の地理的記述。
- ii. 戸口（人口・戸数であるが、地理学的視角よりは一般に賦役徴収の視点より記述されている）・田賦（租税）・徭役等の、国家の税役收取に関する記述、及び水利・荒政（飢饉対策）・祠祀（宗教行政）等、一般行政に関する記述。
- iii. 職官（官制）・兵衛（軍備）・選挙（科挙等の官吏登用）等、制度史に関する記述。
- iv. 食貨・物産等の経済関係の記述。風俗という項目でも住民の経済的生活を扱うことが多い。
- v. 人物（名宦・文苑・耆碩・流寓・烈女などに分れる）・平寇（戦乱・民乱など）・災異（災害・異変や瑞祥の類）など、当地の歴史に関する記述。
- vi. 園林・古蹟・陵墓・寺観等、古今の建造物の記述。
- vii. 出身者・地方官の詩・文、出身者の著作目録（書目）など。

一目にして明らかであるが、方志は、特定の地域について、地理・歴史・行政・経済・社会・文化等、あらゆる分野に関して、豊富な情報を含むものである。中国史研究（特に財政史、制度史、社会経済史、民衆運動史、農業・水利史等の分野）において、有効な生文書の利用がほとんど不可能であったが故に、従来の研究はこの「方志」を最も重要な史料として利用して来た。加えて、豊富・詳細な情報を提供してくれる人名・地名辞典——工具としての性格も見逃がせぬところであり、中国研究・教育の任務を有する機関は、方志の収集・整備に努めて来たのである。

<北海道大学における収蔵状況> 朱士嘉『中国地方志綜録』（1956年）は約7,400種の方志を挙げている。「中国方志叢書」（一・二期）刊行前に、かつ東洋文庫が大量に旧北京図書館蔵明代方志のマイクロフィルムを購入する以前に編集された、国会図書館『日本現存・中国地方志総合目録』（1969年）は、約4,000種を著録している。つまり日本にもかなりの中国方志が存在するわけである。そのほとんどは、東京の特殊文庫の収蔵するところであるが、第二次大戦前

に創設され、大学院レベルの教育を施す各大学でも綫装本・洋装本さらにはマイクロフィルム
の購入によって、中国方志の整備・充実が進められて来た。

この点で北海道大学における方志の整備——繰り返すが方志は、現今水準の中国研究にお
いて、基本工具の域に含まれるものである——は、至って後れていたと言えるであろう。加え
て、もともと国内の他地域に比較して古籍の少ない北海道地方にあっては、大学以外の諸機関
収蔵の方志を利用するという途も全くあり得なかったのである。本学による「中国方志叢書」
第一期 723 種 1,211 冊の備付 (1975 年) に続く今回の第二期 639 種 1,916 冊の購入は、本学に課
された研究・教育機能の必要条件の整備を一步進めただけでなく、北海道地方における空白を
填めた意義も決して小さくはないのである。

二期に渉る購入によって本学所蔵の方志の数は、従来の二桁から飛躍的に増加した。本叢
書は、台湾所在の方志を影印複製したものであるが、ごく僅かのものを除けばほとんどが清
代、それも後期のものに属する。本叢書を含めて本学の方志収蔵状況を概観して見よう。宋元
時代の方志は残存はもともと少ないが、近年台湾から「宋元地方志叢書」が影印出版され、既
に東洋史研究室に蔵置され、これによって現今世界で利用可能な宋元方志の多くは、本学でも
閲覧が可能となった。明代には多数の方志が刊行され、山根幸夫『日本現存・明代地方志目録』
によれば、日本に在るものだけで (旧北京図書館本のマイクロを含む) 545 種の多数に上って
いる。しかし本学に在るものは、写真・マイクロフィルム、及び台湾の「中国史学叢書」に収
められた複製本を含めて僅々約 30 種に過ぎない。かつ明末 (万暦年間) に各省レベルで出され
た総志を本学は全く欠いている。清代に入ると、今回の叢書で中国本土のかなりの地域がカバ
ーされることになった。さらに省志については、台湾で複製された乾隆の各省志が、中国本土
については大体揃っている。しかし敢言すれば、日本で利用可能な方志の数に比べれば、清代
方志もまだまだ不備の感を免れ得ないのである。

<今後に向けて> 既に述べたように、二次に渉る「中国方志叢書」の購入によって、北海道
大学の中国研究の基礎条件は一段と充実することとなった。それは各分野の研究に豊富な史料
を供給するとともに、各種の情報を提供する工具の充実をも意味する。各種論文を作成する学
生にとっても、従来東京等に足を運ばざるを得なかった時間・費用の節省という点で、供与さ
れる便宜は大きいものがある。さらにまた、本叢書は本学の研究者・学生だけで無く、広く北
海道地域の研究者・学生の利用に供さるべきものと考えられる。本叢書蔵置の意義は、如何
ほど強調しても、しすぎることはないであろう。

今後に望むらくは、この方向が継続され、叙上の如き欠落部分が補われることである。さ
し当って明代方志の整備が課題となるであろう。日本現存 545 種の明代方志 (ほとんど東京地
区に在る) は全てマイクロフィルムが作成されており、京都大学を始めとして各大学でこれを
全て蔵置したところが少なくない。さらにまた一二年中に台湾から旧浙江図書館蔵の明代方志
が影印出版されようとしている。清代・民国期の方志についても、本叢書に収められていないも
ののマイクロフィルムによる収蔵を逐次進める必要があり、特に本叢書で手薄な四川省等の方
志については、「中国方志叢刊」等によって整備を進めることが望まれる。これらは相当の時
間と経費を必要とすると思われるが、大学院レベルの研究・教育を任務とし、かつ史料を収蔵
する特殊文庫から遠く離れて位置する大学においては、方志の充実は基礎的条件の整備の域に
含まれると思われるからである。

最後に北海道大学図書館蔵中国方志のうち、珍しいものを一つ紹介しておきたい。1977
年度に北大図書館は道光 3 年刊の『南昌県志』(江西省) 全四十巻をそのコレクションに加え

た。この『南昌県志』は本「中国方志叢書」1・2期に入っていない。そして国会図書館『日本現存・中国地方志綜合目録』に徴する限り、日本国内には存在しない方志なのである。他に存在を見ぬ点でまず稀少性があるが、加えてこの方志が、他の古籍に補強のために挿入されていた入紙から復原されたという点にも稀少性が見出される。本書は元来が北大図書館蔵の明刊の兵書『登壇必究』全8帙64冊の入紙であり、たまたま『登壇必究』の閲読中に版心の破れからその存在が発見され、東京国立博物館国宝修理室に委託して再製されたものである。ごく一部に欠落はあるものの、ほとんど完璧に復原され、本学の方志のコレクションに加えられたのである。中国研究における方志の意義は縷説したとおりであり、国内に限れば孤本たる本方志の蔵置の意義は大きいと言えるであろう。

(文学部東洋史第一講座研究室)

◆ 受 贈 図 書

本学教官著作物

[本 館]

○経済学部

林 善茂 (共著) 北海道の生業—農林業— [明玄書房]

石 坂 昭 雄 商業史 (有斐閣双書) [有斐閣]

○理 学 部

孫 野 長 治 Developments in Atmospheric Science 12. [Thunderstorms.]

◇ 人 事 往 来 ◇

新図書館委員

石 川 武	(法学部教授)	56. 2. 12
内 田 新	(事務局 長)	56. 4. 1
富 森 虔 児	(経済学部教授)	〃
勝 井 義 雄	(理学部教授)	〃
今 井 四 郎	(文学部教授)	〃
三 宅 敏 恒	(理学部助教授)	〃
中 路 貴 彦	(応用電気研究所助教授)	〃

再 任

山 下 格	(医学部教授)	55. 9. 16
野 村 哲 士	(薬学部助教授)	56. 4. 1
小 野 延 雄	(低温科学研究所助教授)	〃
東 市 郎	(免疫科学研究所教授)	〃

転 入

石 川 雅 夫	閲 覧 課 長 (北見工業大学附属図書館事務長)	56. 4. 1
---------	--------------------------	----------

昇 任

石 黒 克 介	閲覧課課長補佐 (工学部総務課図書掛長)	56. 4. 1
---------	----------------------	----------

配 置 換

宮 部 徹	整 理 課 長 (法学部事務長)	56. 4. 1
星 賀 隆	整理課教養分館閲覧掛長 (農学部図書掛長)	〃
石 倉 賢 一	整理課整理掛長 (整理課教養分館閲覧掛長)	〃
遠 昭 二	閲覧課第一運用掛長 (整理課整理掛長)	〃
桑 原 蔚	閲覧課第一運用掛 (薬学部図書掛)	〃

佐 竹 順 一	整理課総務掛 (医学部附属病院給食掛)	56 .5 .1
三 浦 智	閲覧課第一運用掛 (工学部理学第二)	〃
横 山 梅 雄	獣医学部事務長 (整理課長)	56. 4. 1
平 田 忠 夫	工学部総務課図書掛長 (閲覧課第一運用掛長)	〃
早 坂 孝 一	農学部附属農場会計掛 (整理課総務掛)	56. 1. 5
羽 川 明	工学部総務課図書掛 (閲覧課第一運用掛)	〃

転 出

若 月 修	筑波大学総務部情報処理課長 (閲覧課長)	56. 4. 1
似 鳥 正 吾	北見工業大学附属図書館事務長 (閲覧課課長補佐)	〃

採 用

渡 邊 美喜子	整理課教養分館閲覧掛	56. 2. 2
松 澤 聖 子	整理課整理掛	56. 4. 1
仲 倉 由美子	閲覧課第二運用掛	〃
板 東 浩 子	閲覧課第二運用掛	〃
角 掛 純 子	整理課教養分館閲覧掛	〃
高 井 姫世美	整理課教養分館閲覧掛	〃

退 職

秋 葉 真理子	(整理課教養分館閲覧掛)	55. 12. 6
村 井 光 子	(閲覧課第一運用掛)	56. 3. 14
石 井 理枝子	(整理課整理掛)	56. 3. 31
今 井 美 代	(閲覧課第二運用掛)	〃
清 野 由美子	(閲覧課第二運用掛)	〃
飯 田 孝 子	(整理課教養分館閲覧掛)	〃
大 蔵 かえで	(整理課教養分館閲覧掛)	〃

北海道大学附属図書館報 「楡蔭」 (通巻 56 号)

1981 年 5 月 30 日 発行 発行人 矢 部 一 郎

編集委員 宮部 徹 (長)・石川雅夫・遠藤雄作・石黒克介・野地俊郎・船木敏美・坪田充弘
石倉賢一・遠 昭二・杉尾勝茂・宇野弘純・山本幾夫・星賀 隆

発 行 所 北海道大学附属図書館 札幌市北区北 8 条西 5 丁目 電話代表 711-2111 (2967)

印 刷 所 文 栄 堂 印 刷 所 札幌市中央区北 3 条東 7 丁目 電話代表 231-5560-5561